

令和2年10月9日
滋賀県信用組合

第10回 経営諮問会議の概要について

当信用組合は、理事会の諮問機関として、外部有識者で構成される「経営諮問会議」を設置しております。本会議は、外部有識者より経営全般について助言・提言をいただき、これを経営に反映させることにより、経営の客観性・透明性を確保し、コーポレート・ガバナンスを強化することを目的としております。

過日、「第10回経営諮問会議」を開催いたしましたので、その概要につきまして、下記のとおりご報告させていただきます。

記

1. 日時 令和2年8月6日（木） 14:00～16:00

2. 場所 琵琶湖ホテル

3. 出席者

（経営諮問委員）〈順不同、敬称略〉

力石 伸夫 （公益財団法人 淡海環境保全財団 前理事長）

藤田 義嗣 （一般社団法人 滋賀経済産業協会 相談役）

片山 聡 （オアシス法律事務所 弁護士）

（滋賀県信用組合）

青木 和夫 （理事長）

鈴木 直人 （常務理事）

中村 義明 （常務理事）

松田 浩一 （常勤理事）

4. 青木理事長挨拶要旨

本日は大変お忙しい中、ご出席賜りまして、ありがとうございます。

6月19日に総代会を開催、無事終了し、5期連続の配当を実現することができました。総代会後の理事会において、第8代目の理事長に就任し、その重責に身の引き締まる思いです。これから役職員の皆と地域社会の皆様、また、取引先の組合員の皆様とともにけんしんの更なる発展のために、努めてまいる所存でございますので、引き続きのご指導・ご鞭撻を宜しく願います。

本日は、今後の3か年の経営強化計画について、積極的なご意見賜りたく、どうぞ宜しく願ひ申し上げます。

5. 当組合からの説明内容

中村常務理事より以下の内容について説明いたしました。

- ・令和元年度決算概況
- ・経営強化計画の進捗状況

6. 意見交換要旨

(1) 出席委員の皆様から以下のご意見、ご提言をいただきました。

- ・ 青木新理事長には、井上前理事長の経営の良いところは活かしながら、新風を吹き込み、新しい経営を実践するようにして頂きたい。特に、今日の厳しい経営環境を乗り越えるためには、やはり、信組とともに成長する地域づくりが非常に大事だと考える。
- ・ 新型コロナウイルスによる経済的ダメージを取引先が被られることになり、また、新型コロナウイルス対応融資も増えてくると、この両面から貸倒引当金繰入リスクが高まってくると懸念される。そうなってから手を打つのでは遅いので、今から収益構造の改革に力を入れて手掛けて欲しい。
- ・ 新型コロナウイルスで脱対面の営業が求められているが、やはり要所では対面が必要だろう。今日的なドブ板営業というのは、アナログ的な足の営業+デジタル的な情報発信営業のハイブリッド営業という事になるのではないかと思われる。色々取り組んでいるとは思いますが、信組ならではの今日的なドブ板営業に注力して頂きたい。
- ・ 新型コロナウイルスにより世界中が変わらざるを得ないという状況において、地域経済や自社の動き方はどうあるべきか、ということを考えている経営者は多いと思う。それに一緒に寄り添い、お互いに少しリスクを取りながら、将来の絵を描くということが出来れば良い。
- ・ 人材育成において、課題に果敢に向かっていける人材が必要なので、従来のやり方に依存してはいけない。お金で動くという者もいると思うが、やはり生きがいや遣りがいをインセンティブとして与えていけるような人材育成が非常に重要だと考える。

- SDGsの中身を見てみると、利他の精神であると言える。その中で皆が未来を渡って行こうということであり、それは生かしていく必要があるだろう。そのような時代の変化を地域でどう動かせば良いかといったことや、自社はどう動けば良いかということは、それぞれのリーダーにかかっている。そういった意味では、大いに地域のリーダーと共に商社や様々なことに取り組んで欲しい。
- 地域経済の悪化が予想される中で、地域金融機関として、周りの中小企業・小規模企業を支えていくために、地域密着がより重要になってくる。
- 現場をしっかりと見て、目利きが出来ようにならなければ、マッチングも難しいのではないかと。そうすると、人材育成が重要となってくる。なかなか難しいとは思いますが、地域密着により一層、力を入れて頂きたい。

(2) 青木理事長からの回答

貴重なご提言を頂きまして、ありがとうございます。

単にお金を貸すだけではなく、信用組合は地域の商社として取り組んでいきたいと考えています。事業性評価にも繋がりますが、お客様に何が足りないのかを十分理解し、人材育成にも活かしたいと考えます。これを大きな柱として今後の3年間に取り組んでまいります。

今後ともご支援ご指導宜しくお願い申し上げまして、お礼に代えさせて頂きたいと思っております。

以上